



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

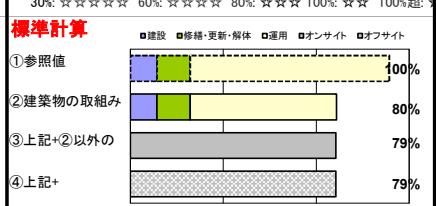
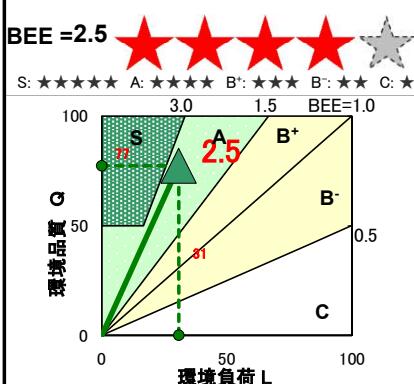
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)柏の葉キャビン新技術センター計画B 棟新築工事	階数	地上4F
建設地	千葉県柏市若柴138-1画地、138-2画地、138-3画地	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準住居地域、法22条区域	平均居住人員	366 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2025年10月20日
敷地面積	7,144 m ²	作成者	三浦健
建築面積	4,928 m ²	確認日	2025年10月20日
延床面積	15,038 m ²	確認者	丸山琢

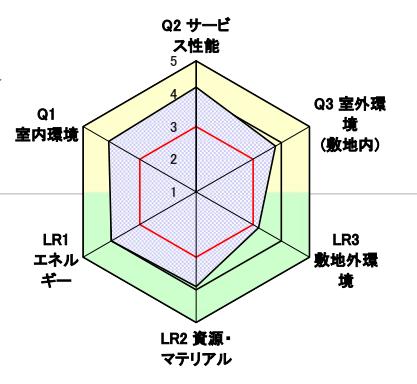
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

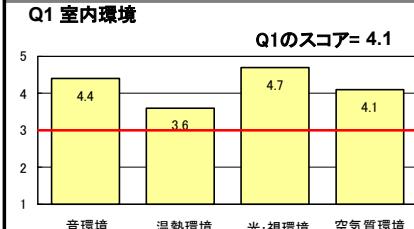


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

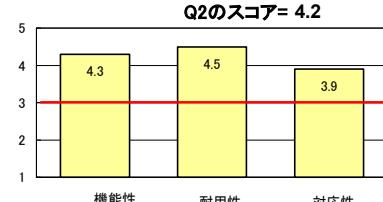


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



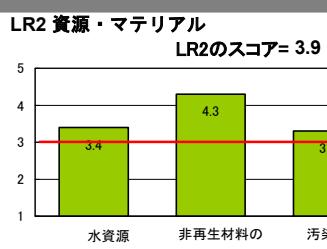
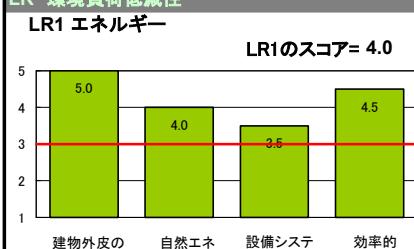
Q2 サービス性能



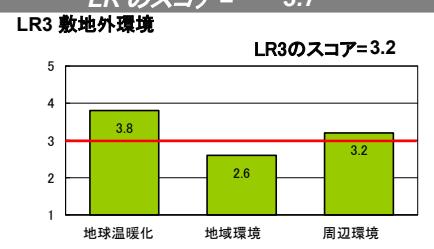
Q のスコア= 4.0



LR 環境負荷低減性



LR のスコア= 3.7



3 設計上の配慮事項

総合

建物全体のコンセプトを“Pneumatic Design”として、空気・風の流れをイメージさせる流線形の設計、風通しの良いグローバルコミュニケーション、街とSMCを繋ぐ空気感を演出する。また、段状の屋上庭園や桜並木を配置し、2つの都市公園をつなく場としての役割を果たしている。

その他

Q1 室内環境

- ダブルスキンやウレタン系不燃断熱材を採用することで外皮性能を向上させている。
- ハイサイドライトで自然光を取り込み、さらに人感センサーによる明るさセンサーを導入して省エネ性に配慮している。

Q2 サービス性能

- 社員食堂や屋上緑化によって利用者のリフレッシュを促し、働きやすい空間を計画している。
- OAフロアの採用によりレイアウト変更や機器の更新性へ配慮している。

Q3 室外環境 (敷地内)

- 敷地外周部を積極的に緑化することで、単調な風景を緩和し、良好な景観を周辺地域に提供している。

LR1 エネルギー

- 高効率な設備機器等を導入しており、エネルギーの効率的利用に配慮した計画としている。
- 中央監視/BEMS等により主要な用途別のエネルギーを測定し、システム効率を評価を行う。

LR2 資源・マテリアル

- 節水型器具の採用により水資源の保護に配慮している。
- 合成スラブテッキやキャブリングハイ工法の採用により構造部における材料使用量の削減を図っている。

LR3 敷地外環境

- 周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。
- 雨水流出抑制対策や燃焼機器のない計画とすることで周辺への負荷低減に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



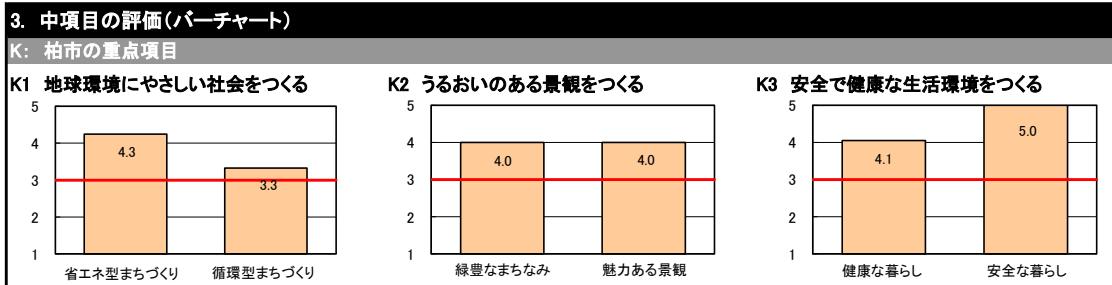
CASBEE木

評価結果

■使用評価マニュアルCASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1 建物概要		建築物の環境効率 (BEEランク)	A	★★★★☆
建物名称	(仮称)柏の葉キャンパス新技術センター計画 B 棟 新築工事			

2 重点項目への取組み度		取組み度 ※(得点/満点)	評価結果
K1 地球環境にやさしい社会をつくる		3.7 / 5.0	
K2 うるおいのある景観をつくる		4.0 / 5.0	
K3 安全で健康な生活環境をつくる		4.5 / 5.0	
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上	ふつう 3点以上	がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項		スコアシート
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	・断熱性能を高めて省エネ型まちづくりに配慮する ・廃棄物保管スペースの確保や分別回収容器の設置により循環型まちづくりに配慮する	1. 省エネ型まちづくり 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) 1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 5.0 スコア 4.0 スコア 3.5 スコア 4.5 2. 循環型まちづくり 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) 2.2 雨水排水負荷抑制(LR2-2.3.1) 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2.3.4) 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 3.0 スコア 4.0 スコア 4.3 スコア 2.0
K2 うるおいのある景観をつくる	・緑地を可能な限り豊富に設け敷地内のみどり豊なまちなみ配慮する ・緑地による良好な景観を形成することで魅力ある景観に配慮する	スコアシート 1. 緑豊なまちなみ 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 4.0 2. 魅力ある景観 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) 2.2 水空間の創出 2.3 道路沿いの緑化 スコア 4.0 設置の有無 緑視率の確保 - -
K3 安全で健康な生活環境をつくる	・バリアフリー新法の円滑化基準を満足することにより、健康な暮らしに配慮する	スコアシート 1. 健康な暮らし 1.1 空気質環境(Q1-4) 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.3) スコア 4.1 スコア 4.0 2. 安全な暮らし 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) 2.2 防犯対策 スコア 5.0 防犯性の配慮 -